

28年産主食うるち米の販売状況

1. 出荷状況（全農）

（1）全国（3月末現在）

年内までは低・中価格帯銘柄を中心に好調に推移しましたが、年明け以降は販売計画減少の懸念がある産地の出荷が抑制されたことなどから、やや鈍化し、3月末現在、前年比103%となっています。

< 28年産米 全国の出荷状況(全農・3月末現在) >

前年対比							
～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
103%	92%	112%	118%	95%	98%	101%	103%

（2）本県・コシヒカリ（4月末現在）

年内の出荷は、新米切替えの遅れなどにより低調に推移しましたが、年明け以降は、量販店の特売採用が増えたことや大手業務用の使用時期が早まったことなどから前年を大きく上回り、4月末現在、前年比101%まで回復しています。

しかしながら、豊作により販売計画が当初より大幅に増加したため、業務用向けの一定量は、国の米穀周年供給支援事業を活用した長期計画的販売（29年11月以降の出荷）に取り組むこととしています。

< 28年産本県産コシヒカリの出荷状況(全農・4月末現在) >

銘柄		前年対比					
		～12月	1月	2月	3月	4月	累計
コシヒカリ	一般	84%	95%	129%	131%	113%	101%
	魚沼	78%	106%	94%	124%	100%	88%
	岩船	94%	115%	136%	111%	136%	109%
	佐渡	90%	153%	182%	123%	97%	109%
コシヒカリ計		85%	104%	132%	127%	109%	101%

2. 販売動向

米消費量の減少や食の外部化などにより家庭用需要は減少傾向にあります。また、消費者の購入先が多様化（ドラッグストア、インターネット販売、ふるさと納税等）していることや節約志向が根強いこともあり、家庭用米をめぐる販売競争は厳しさを増しています。量販店等は価格訴求を強めており、年内はあきたこまちや他県産コシヒカリなどで5kg 1,380～1,480円（税別）の特売が多数見受けられました。年明け以降は、本県産コシヒカリでも5kg 1,580～1,680円（税別）の特売が散見されるようになっており、厳しい価格競争が展開されています。

一方、産地では高価格帯をめざした新品種導入の動きが活発化しており、29年産でも、富山「富富富（ふふふ）」、福井「いちほまれ」、岩手「金色の風」などの先行販売が予定されています。

今後、高価格帯銘柄の販売環境は一層厳しくなると想定されますが、29年産新米への切替えを円滑に進められるよう、引き続き販促提案を強化し実売促進をはかってまいります。

<29年産プレデビューとなる主な新品種（高価格帯）>

産地	銘柄	備 考
富山	富富富（ふふふ）	良食味、高温に強い 富山米新品種戦略推進会議の委託運営業者を県が募集中
福井	いちほまれ	良食味、高温に強い 福井ブランド米推進協議会を設立し、ブランド化を推進
岩手	金色（こんじき）の風	良食味、低アミロース いわてオリジナル品種ブランド化実践本部会議を設置し、ブランド化を推進
山形	雪若丸	中山間地で生産、減農栽培向き つや姫の弟分として効果的なブランド化を推進（つや姫ブランド化戦略推進本部）
宮城	だて正夢	耐冷性、低アミロース みやぎ米ブランド化戦略会議を設置し、ブランド化を推進

（米穀部 大阪事務所）